



つのちよう

第45号

議会だより



わくわくドキドキ（にじいろ園入園式）

3月定例会

平成28年5月1日発行

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 大崎公孝
印刷 笹岡印刷所

主な紙面

平成28年度一般会計予算…………… 2P

傍聴記…………… 9P

町政を問う（4人が一般質問）…………… 10～17P

平成28年度一般会計予算

61億1,300万円

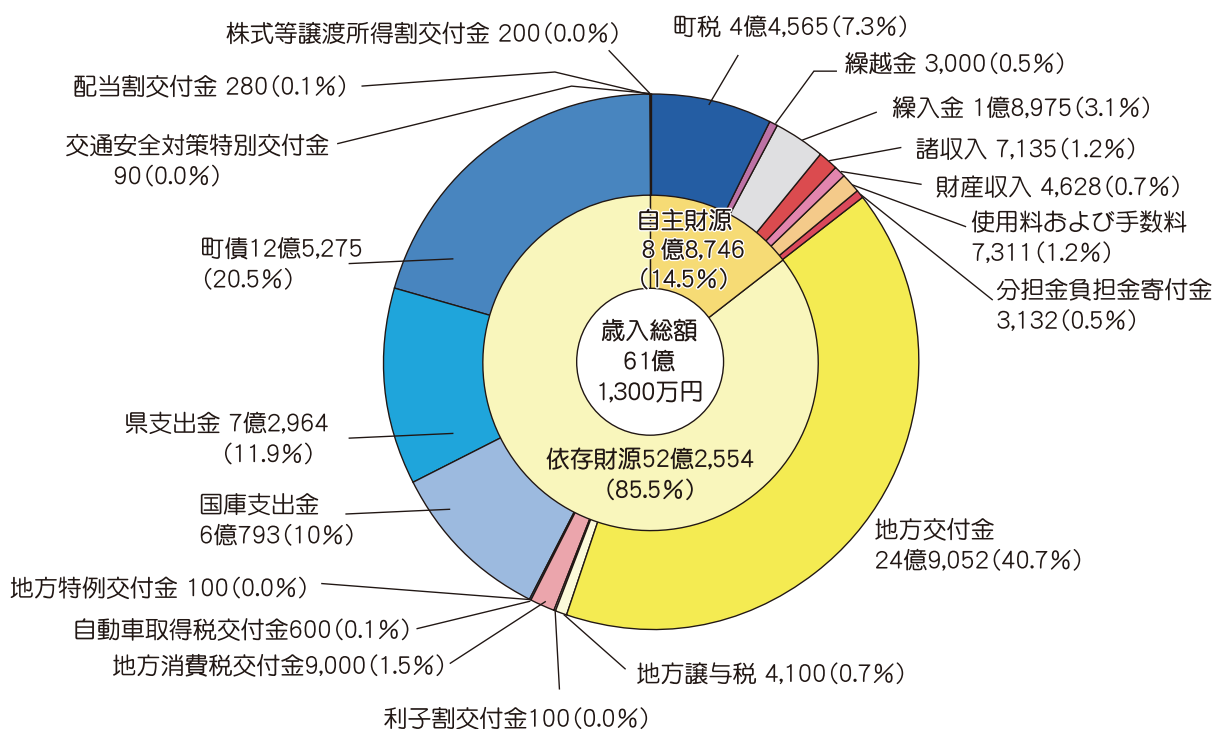
対前年度
4億3,700万円(6.7%)減

3月定例会は、4日から10日までの7日間開かれ、町長の施政方針、教育長の教育行政報告、専決処分3件の報告、27年度補正予算、28年度一般会計予算及び特別会計予算、条例改正等33件を可決、人事案件3件の内2件を答申し1件を同意した。

一般質問には、4人が立ち、町長の施政方針、公共工事の発注見通し、ふるさと納税の取り組み強化、奥四万十博への取り組み、財政強化の取り組み、まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育振興等について執行部をたじた。

一般会計予算歳入構成

(単位 万円)



歳入(収入)

●地方交付金

地方税収が不足するため標準的な行政運営に支障をきたす自治体に対して、一定の基準で国から交付される税金。

●国庫支出金

各種事業を実施するための国からの負担金や補助金。

●県支出金

各種事業を実施するための県からの負担金や補助金。

●繰入金

必要な財源を確保するため、基金(町の預金)から繰り入れるお金。

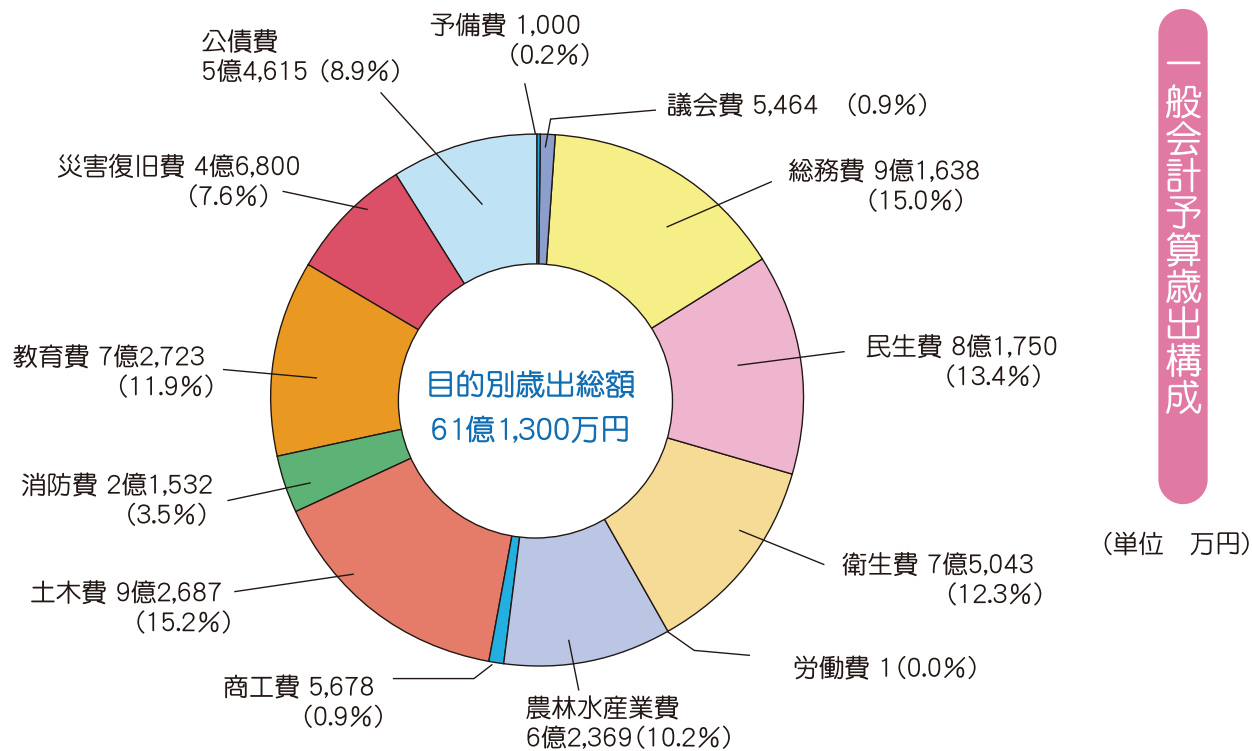
●町債

道路の開設や公共施設の建設など、大きな事業を実施するときに借りる資金。

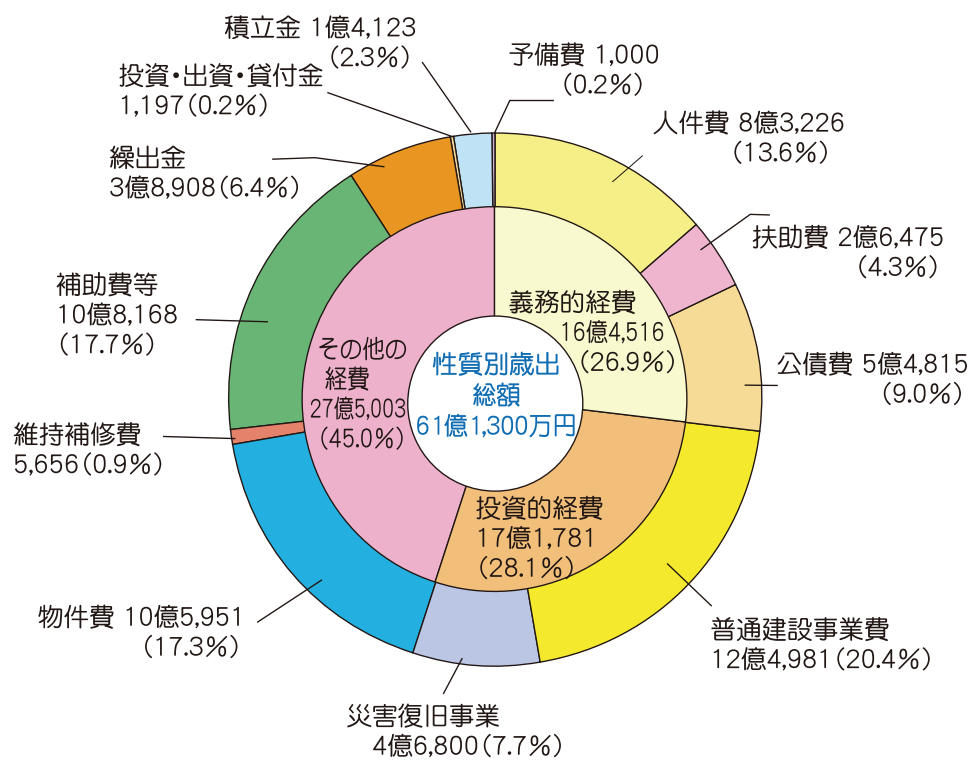
会計別予算

(円)

会計名	28年度予算額(円)	27年度当初額(円)	前年度比	
			金額(円)	伸び率(%)
一般会計	61億1,300万	65億5,000万	△4億3,700万	△6.7
国民健康保険事業特別会計	11億418万	11億2,023万	△1,605万	△1.4
(事業勘定)	9億4,973万	9億7,222万	△2,249万	△2.3
(直営診療施設勘定)	1億5,445万	1億4,801万	644万	4.4
簡易水道事業特別会計	4億296万	4億206万	90万	0.2
生活環境施設特別会計	8,043万	8,129万	△86万	△1.1
介護保険事業特別会計	7億6,443万	7億6,459万	△16万	△0.02
後期高齢者医療特別会計	9,363万	8,852万	511万	5.8



- 歳出(支出)**
- 議会費
議員活動に要する経費。
 - 総務費
役場庁舎や町営住宅の維持管理、交通安全対策、選挙などに要する経費。
 - 民生費
社会福祉や児童福祉、老人福祉などの経費。
 - 衛生費
予防接種や検診などの保健衛生やゴミの収集などの経費。
 - 農林水産業
農林水産業を振興するための経費。
 - 商工費
商工業の振興や観光事業に要する経費。
 - 土木費
町道の改良、維持管理や県道の改良事業負担金に要する経費。
 - 消防費
消防施設等の整備に要する経費。
 - 教育費
学校教育をはじめ、社会教育、体育行事の運営に要する経費。
 - 災害復旧費
災害復旧に要する経費。
 - 公債費
町債(借入金)の返済に充てる経費。



国民健康保険事業勘定は、国税の引き上げと一般会計からの財政支援等入金が行われていないが、財政調整基金の取り崩し額3千78万2千円を計上しており厳しい運営状況である。

簡易水道事業特別会計は大野簡水(西黒川)区域拡張工事及び大野簡水全体の測量設計費、公債費の償還による。

介護保険事業特別会計は、65歳以上の介護認定者に対する所要額を計上した。

生活環境施設整備特別会計は、合併処理浄化槽30基分を予算化した。

後期高齢者医療特別会計は、75歳以上の人口1千560人を対象に、低所得者に対する保険料の軽減分を含めた所要額を計上した。

平成28年度一般会計予算の事業概要

主な新規事業(抜粋)

(単位:千円)

	科目	当初予算額	備考
総務費	津野町公共施設総合管理計画事業	4,320	公共施設の今後の管理について、計画を策定、策定後は「公共施設最適化事業債」等の起債が活用できる。
	春日山周辺の整備計画事業	3,915	春日山周辺の整備計画。建物など補償調査及び消防分署・屯所など基本設計業務
	公共交通再編計画事業	18,550	公共交通再編計画委託及び試験運行に係る委託、車両購入
	共聴施設老朽化更新事業	10,000	共聴施設(NHK共聴施設)の老朽化対策事業。三間川・西谷・三ツ家・桑ヶ市
	高陵交通機補助金	8,112	高陵交通路線バス維持の負担金
	高知県避難所運営対策加速化事業費補助事業	4,115	災害時に備え指定避難所へ備蓄倉庫を整備する。
	高知県避難所用ラジオ整備事業費補助事業	676	難聴地域の指定避難所のラジオへ屋外アンテナを整備する。
	高知県応急期機能配置計画策定事業費補助事業	4,968	応急対策や復旧・復興対策を円滑に行うため、応急期機能配置計画を策定する。
民生費	在宅高齢者生活支援短期宿泊事業	1,148	養護老人ホーム空き室を利用し、一時的に養護が必要となった高齢者の体調調整を図る。
衛生費	健康マイレージ事業	1,179	町民の健康増進事業等への取組をポイント化し商品券で還元する。
	西黒川飲料水供給施設整備事業	16,000	西黒川大西地区、配管敷設工事
農林水産業費	堆肥センター施設改修事業	6,032	堆肥センターの補修
	地域林業総合支援事業	842	須崎地区森林組合の経営コンサル補助及び桑ヶ市素材生産組合へのクラブ購入等への補助
	林道蓬尾線舗装整備事業	30,100	
	林道ナバタキ線整備事業	30,100	
教育費	長期集団宿泊活動事業	1,338	県補助を活用し、小学生の県内宿泊活動
	訓子府町開基120年神楽派遣事業	1,313	訓子府町開基120年で神楽を演舞
	葉山総合センター落成式典	2,790	落成でステージ公演などを行う。
	船戸体育館改修事業	4,328	船戸体育館の屋根等を改修する。
	勤労者体育館排水路改修事業	1,174	勤労者体育館敷地内の排水路改修

主な継続事業(抜粋)

総務費	若者定住促進住宅取得奨励金	10,600	45歳以下の者が定住する目的で町内に住宅を新築または増築した場合に補助金を交付
農林水産業費	有害鳥獣被害対策事業	23,053	有害鳥獣駆除奨励金など
	こうち農業確立支援事業	12,738	生姜自動包装機、茶畑崩壊対策
	森林整備地域活動支援交付金	12,510	経営計画作成促進、施業集約化促進など
	林道馬場山線整備事業	30,050	林道開設
	林道北山貝名線整備事業	30,050	法面改良など
	林道蓬尾線整備事業	20,050	法面改良など
	林道太夫畑線整備事業	10,100	舗装工事など
土木費	道整備交付金事業	330,550	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(社総金)	190,650	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(防安全)	50,150	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(老朽化対策)	120,250	計画作成、橋梁修繕など
	がけくずれ住家防災対策事業	30,000	

27年度補正予算

▼一般会計補正予算(第5号)

各事務事業について決算見込み額に対する予算の過不足額を計上するとともに、国の補正予算による年金生活者等支援臨時福祉給付金に4千498万4千円、地方創生事業として奥四万十博負担金に1千196万9千円、国の補正予算によるマイナンバーへの対応経費として情報セキュリティ強化事業に1千100万円を計上。

地方交付税交付見込みにより、施設等整備基金に1億5千700万1千円を積立、歳入歳出9千200万円を増額し歳入歳出の総額を71億5千500万円とする。
(可決 全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

事業勘定で717万円を増額。直営診療施設勘定で31万2千円を減額。歳入歳出の総額を事業勘定9億8千468万6千円、直営診療施設勘定1億5千134万8千円とする。
(可決 全員一致)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出5万6千円を増額し、歳入歳出の総額を7億7千477万1千円とする。
(可決 全員一致)

▼簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

事業費の確定等により8千188万8千円を減額し、歳入歳出の総額を3億2千381万2千円とする。
(可決 全員一致)

▼後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出32万3千円を増額し、歳入歳出の総額を8千884万4千円とする。
(可決 全員一致)

条例の制定・改正

▼津野町行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法の改正に伴い、町に対して審査請求がなされた場合に、町長が諮問する第三者機関として「津野町行政不服審査会」の設置に関して必要な事項を定めるもの。
(可決 全員一致)

▼行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

行政不服審査法の改正に伴い、法律番号の変更及び条項の追加や不服申し立ての制度が一元化されたため、関係条例の引用条項や関連用語等について所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法の改正に伴い行政指導の中止等を求めることができる手続等が加わったため所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正により、地方公務員法第58条の2第1項に規定する人事行政の運営等の状況の公表事項について所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

学校教育法の改正により、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定され、また、地方公務員法等の改正に伴う関係条例の条ずれ、地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い育児短時間勤務職員に関して

新たに規定されたため所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い職員の育児休業について所要の規定の整備を行う必要が生じたため、所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員災害補償法施行令の改正により、年金に乘じる調整率の変更となるため所要の改正をするもの。
(可決 全員一致)

▼津野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の勤勉手当に人事評価を反映させるため、評価期間について定めるものと、

平成27年10月の高知県人事委員会勧告の趣旨に沿って一般職員の給料表について改正するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

高幡東部汚泥再生処理センターの仮稼働開始に合わせ、高度四万十し尿処理施設の稼働を停止する。仮稼働後、西地域のし尿は東地域と同じく汚泥再生処理センターで処理することから手数料等の統一を図るため所要の改正をするもの。

(可決 全員一致)

▼津野町税条例等の一部を改正する条例

「総務省自治税務局通知」に基づき、個人番号を記載しない取り扱いとした手続分について、津野町税条例の一部を改正する条例の一部を改正するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法及び関係政省令の改正により、小規模な通所介護事業所が地域密着型サービスへ移行されるため、所要の改正をするもの。

(可決 全員一致)

▼津野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法及び関係政省令の改正により、介護予防認知症対応型通所介護における「運営推進会議」の設置などについて、所要の改正をするもの。

(可決 全員一致)

その他の議決

▼高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更

高知県市町村総合事務組合の構成団体である仁淀川中央清掃事務組合が施設の老朽化に伴い平成28年3月31日で解散することから、脱退について、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

(可決 全員一致)

▼高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更に伴う財産処分

仁淀川中央清掃事務組合の脱退に伴う財産処分について、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

(可決 全員一致)

▼津野町過疎地域自立促進計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の期限延長に伴い、本町が過疎地域に指定されていることから、同措置法第6条第1項の規定により、別冊「津野町過疎地域自立促進計画」を定めるに当り議会の議決を求めるもの。

(計画期間平成28年4月1日～平成33年3月31日)
(可決 全員一致)

▼辺地に係る総合整備計画の変更

郷辺地において林道整備事業の追加により計画を変更するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町公の施設の管理に係る指定管理者の指定

郷地区集落活動拠点施設の指定管理者として「郷地区活性化委員会」を指定。

(可決 全員一致)

活動促進施設の指定管理者として「はやまの茶屋」を指定。

(可決 全員一致)

▼平成27年度津野町葉山運動公園総合センター整備工事請負契約の変更契約の締結

当施設及び敷地内の排水処理対策として排水施設を追加計上すること等を含め契約を変更するもの。

(可決 全員一致)

▼平成27年度第5号町道本村線道路改良工事請負契約の変更契約の締結

平成28年度に本村側の橋台を川ノ内側から仮設道路を造成し施工するため、逆台形直積擁壁を途中までの施工とし、この逆台形直積擁壁の数量減に伴い契約を変更するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町道の路線の廃止について

道路法第10条第1項の規定に基づき町道の8路線を

廃止するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき町道の18路線を認定するもの。

(可決 全員一致)

委員の選任

▼津野町教育委員会委員

伊原吉臣氏 (再任)

津野町北川

昭和34年生



(同意 全員一致)

委員の推薦

▼人権擁護委員

松岡民雄氏 (再任)

津野町船戸

昭和23年生



高橋保章氏 (新任)

津野町姫野々

昭和29年生



専決処分の報告

▼平成27年度郷地区集落活動

拠点施設整備工事請負金額を312万7千680円増額し、1億341万7千560円とするもの。

▼平成27年度町道船野白河瀬

線橋梁下部工事請負契約金額を23万8千200円増額し、5千79万7千800円とするもの。

▼平成27年度町道船野白河瀬

線橋梁上部工事請負契約金額を158万4千360円減額し、6千753万5千640円とするもの。

(わが家のペット紹介)

今回は、かわぞえうどうさんの愛亀です。

きれいな川が大好きです。
水は私の命です。大切にしてくね。



- ・住所 大谷
- ・名前 おかめ
- ・生年月日 わが家に貰ってきて3年になります。
- ・亀種 日本石亀
- ・飼い主さんから一言
散歩をしたら後を全力で走ってついてきます。
寝相が悪いのですが、それが可愛くて…、愛嬌ですね。



池田町長

町長 施政方針

平成28年度は限られた財源で最大の効果を発揮することを基本に、将来の財政運営にも考慮した予算を編成した。特に重要な施策に、地域イメージ・

地域発の商品やサービスのブランド化で持続的な地域経済の活性化を目指す「津野町まるごと商社化構想」による地産外商強化事業」や、コミュニティバスの本格運行を目指す「地域公共交通再編計画」等からなる「津野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、4月10日からの「奥四万十博」を位置づけた。

その他の主要施策 一、思いやりと協働の まちづくり

(1) 住民自治の育成と支援

(2) 域学連携事業の推進

高知県立大学↓「地域に特化した食材・加工の研究」や、地域の魅力を再発見する「津野山学」の推進等。
東京農業大学↓包括連携協定の締結予定

二、地域資源を活用した 豊かなまちづくり

(1) 農業振興における鳥獣害 対策の推進

(2) 農業振興における地産外

商の直販事業

一定売上のある生産者への津野町高品質堆肥センター製造による堆肥の提供

(3) 津野茶販売戦略

日本茶インストラクターをアドバイザーとして配置。海外への輸出も視野にした販路開拓・産地保全・販売促進

(4) 新規林業従事者の育成

(5) 貯木場の拡張と選木機の 整備

(6) 林業振興における保育事 業の補助

三、自然と調和する まちづくり

(1) 防災対策の推進

防災行政無線のデジタル化に向けた調査等。

(2) 移住定住の推進強化

地方公共団体無料職業紹介事業の開始等。

(3) 環境衛生の整備

高幡東部清掃組合汚泥再処理センター・し尿処理中間貯蔵施設の整備

(4) 簡易水道の整備促進

四、健康で笑顔あふれる まちづくり

(1) 子育て支援の充実

職員の資質・指導力向上のための積極的な園内研修等や保護者への要望調査

(2) 健康づくりの推進

「健康マイレージ事業」の実施。

(3) 高齢者福祉の充実

在宅高齢者生活支援短期宿泊事業の実施。介護保険改正に伴う要支援者の通所・訪問介護の市町村事業への移行実施。

(4) 高知県立大学との域学連 携事業の推進

五、健やかで心豊かな 人づくり

(1) 学力向上対策

学習支援員を3名から5名に増員

(2) 域学連携の推進

更なる長期休暇中の学習支援の充実。各学校への地域コーディネーターの配置による学校教育への支援活動

(3) 社会教育の充実

8月から葉山運動公園総合センターの共用開始予定。多目的施設として活用を推進

六、効率的で健全な行財政 運営によるまちづくり

普通交付税の減額や景気対策等による公共事業の増大に伴う起債残高の増加のため、引き続き中長期の財政計画に基づく繰上げ償還の実施と共に町債の発行を抑制していく。



川上教育長

教育 行政方針

統と文化を大切にし故郷を愛する子ども「育成」を教育目標とする。

28年度の新たな取り組み

○学習支援員を2名増員。各小中学校に配置

○文部科学省のコミュニケーション事業のモデル指定校の取り組み（葉山小学校）

○平成31年からの道徳の教科化に対応するための研究を行う県モデル指定校としての取り組み（葉山小学校）

○放課後教室における加力補習
○春・夏休みの加力補習のためのスクールの開校

○3小学校合同の3泊4日の宿泊研修

○葉山小学校1階トイレの洋式化

○3小学校の音楽室へのエアコンの整備

○2中学校の教育用パソコン関連設備の一新

生涯教育

「活力に満ちた豊かな生活を送ることができるよう学習や芸術などの文化活動、スポーツ活動が行える環境づくり」「先人が育んだ伝統文化や芸能を健全に保全すると共に、遺産を活かしたまちづくり」を基本指針とする。

28年度の新たな取り組み

○高知大学と連携した生涯学習講座の開催

○東区郷土資料館の休日開催（片岡別荘内にも資料等の展示予定）

○津野氏に関わる歴史展（酒蔵ホール）

○平成29・30年の歴史博覧会に向けた専門アドバイザーの配置

○葉山総合運動公園落成オープン（元オリンピック選手）の招聘や子どもを対象とした落成イベントの開催

津野町議会3月定例会の開会日を傍聴して

県議会をケーブルテレビで見たいことは何度かありますが、他市町村の議会に向き傍聴したのは今回の津野町が初めてでした。さまざまな違いに驚き、同時に大変参考になりました。まず、固定概念というものが失敗につながることを再認識しました。津野町役場に到着し、傍聴のため午前10時前に3階の議場へ入るともう開会して町長の施政方針が述べられていました。

針が述べられており、現状と課題を説明し、28年度の具体的な計画や方針が熱心に語られました。須崎市では、教育長が教育行政方針を述べることはなく、資料が配布され、各議員の一般質問に答弁するだけです。また、条例改正議案には、新旧対照表が参考資料としてあるのもわかりやすく思いました。

須崎市は、定例会の開会は午前10時と決まっていますので、当然津野町も10時開会と思いましたが、9時30分開会でした。また、同様に須崎市は傍聴者のために議案資料を議場入り口に置いてあるのが当然あるものと探しました。

4月10日から津野町を含む高幡広域1市4町で奥四万十博が開催されています。連携をとって大いに盛り上げて成功に導き、おもてなしの心を添えて観光振興につなげていきましょう。

休会后、年度当初ということで町長の施政方針・行政報告後、教育長から教育行政方針が述べられており、現状と課題を説明し、28年度の具体的な計画や方針が熱心に語られました。須崎市では、教育長が教育行政方針を述べることはなく、資料が配布され、各議員の一般質問に答弁するだけです。また、条例改正議案には、新旧対照表が参考資料としてあるのもわかりやすく思いました。

須崎市議会議員 竹下雅典

（認定子ども園の教育方針）
「豊かな心とやる気を持ち、逞しく生きる津野っこの育成」とし「基本的な生活リズムや挨拶」「豊かな心の育成」等の道徳教育と、友達との遊びから発見・考え・伝える問題解決型の学習を重点目標とする。

28年度の新たな取り組み
○高岡ブロック研修会の会場園とし毎月園内研修を開催

学校教育
（教育方針）
「夢や希望を持ち、心豊かで逞しい子どもの育成」
「自ら学び・考え・行動できる子どもの育成」「伝

問 奥四万十博への準備は

答 概ね受け入れられる状況



大崎 芳章 議員

大崎

道の駅のサテライトを中心にした各施設の集客の準備や、各地区のイベントの打ち合わせはできているが、まだまだ町民に浸透していないと思うが。

戸田産業建設課長

サテライト会場については未完成で、道の駅や国道沿いには看板を立てる。

4月からは専属の職員を配置し、5市町の要員の講習会で勉強をしていく。

19か所の飲食店・宿泊施設での津野山ビールの提供や、散策コース・川遊び体験・スタンプリー等の計画もしている。

各地域のイベントにはサポートできる部分には協力

一般質問

をし、相談・問い合わせにも対応していく。ホームページの観光特設サイトでPRを進めていく。
町民には町広報誌で周知をし、テレビ・インターネット・ポスター・のぼり等で宣伝をしている。広報やサポーターの募集に努め、商工会を中心に地域住民と協働できる体制を整えていく。



道の駅布施ヶ坂

問 役場職員の 休暇の取得率は

答 今より多く 取れるように

大崎

役場職員の年次有給休暇や産休の取得率と、男女の育児休業、それに対する考えは。

池田町長

育児休業は女性職員は勿論、男性職員にも積極的に取得できるように国・県も取り組んでいる。国は平成32年度までに男性の育児休業取得率を13%にする政府目標を設定している。津野町においては男性職員の取得はない。例規集に載せて周知しているが、それを活用できる職場環境の改善を進めていく。

下元総務課長

職員の年休の取得率は平成26年度が8.3日で21.2%、27年度が8.7日で22.1%。県下町村の平均が10日であり、若干低い状況である。国が平成32年の取得率を70%、地方公務員は年間14日を取得する目標であるので、町も取り組んでいく。
産休の取得は産前6週、産後8週の特別休暇があり、ここ数年は全員取っている。

問 救急車の入れない生活道の把握は
答 事業を導入し対応

大崎

救急車の高規格化で、玄関先まで入れないのは命にかかわる。生活道の実態の把握と改善についての取り組みは。

高橋西庁産業建設課長

津野町のような急峻な地形等で、全ての住居まで町道を整備するのは膨大な予算が必要。2・3戸以上ある所については事業を導入し、延伸あるいは支線を作って対応している。

救急車等が進入しにくい場所については消防署と実態調査をし、用地協力の承諾を得られた所から順次改良。25か所のうち12か所を既に工事済み。



緊急車両も通行しやすく改良された町道

問 マイナンバーカードのメリットは
答 身分証明になる

大崎

町内のマイナンバーカードの交付の現状と、津野町でマイナンバーカードを作ったのメリットはあるか。

黒川住民福祉課長

マイナンバーを割り振られた通知カードと、顔写真付き身分証明機能が備わった個人番号カードの2種類がある。昨年10月にマイナンバー法が施行され、町内2千704世帯に転送不要の簡易書留郵便で届けられている。2月末現在で町が保管している通知カード入り封筒は39通で、受け取り拒否が9通、転出等が3通、亡くなっている方が11通、残り16通の対応が残っている。保存期間が3か月と定められており、電話・訪問等で個人別対応をしている。

マイナンバーカードを作る作らないは個人の自由で、メリットは身分証明書になる。コンビニ等での各種証明書の取得等は十分精査していくが、住民票等の交付対応は考えていない。



カード見本

問 町外・県外にアピール
できるものは

答 ガイドツアーや夜神楽など
計画



田中一孝議員

一般質問

田中

奥四万十博は体験イベント中心だが四国カルストのPRが弱いのでは。また、春夏行事で町外・県外にアピールできる特徴的なものは。

戸田産業建設課長

四万十川源流域をフィールドにしての計画や虎太郎邸を拠点に散策や天狗高原で夜神楽等を計画している。

田中

奥四万十博後に向けて四国カルストを有効に活用していく視点・計画が必要ではないか。

村田副町長

春夏にはセラピーツアーや写真撮影会・星の観察会・夜神楽など、毎月何かのイベントを開催していく。

田中

秋冬行事の計画時期だと思いが、この二年間には幡



奥四万十博開幕 早く乗ろうよトゥクトゥクに

多博・東部博が開催された。二つの地域博覧会の成果や教訓を生かした取り組みを検討しているか。
戸田産業建設課長
町と商工会と協働しながら進める。また、今までの成功・失敗例等を県観光推進課に聞きながら磨き上げていく。

問 県が歴史博覧会を
企画しているが
答 本町も準備を整えていく

田中

来年は大政奉還150年、再来年は明治維新150年で県が歴史博覧会を計画している。本町は江戸時代幕末時、10余名の志士が活躍した。片岡邸や虎太郎邸を中心に志士の足跡を紹介する資料や施設整備さらに予算計画をすべきではないか。

川上教育長

郷土資料館を奥四万十博に向けて整備中。本町の歴史文化遺産の展示については県歴史民俗資料館・県埋蔵文化財センター・葉山史談会等に協力依頼し進めたい。

問 ふるさと納税を
地方PRの機会に

答 しっかり推進して
いきたい

田中

県下の自治体がふるさと納税アップの取り組みをしている。この制度を地方創生とリンクして取り組み産業振興や元気な町づくりが行われている。本町も地産外商・地方PRの機会としないか。

池田町長

本町としても多くの特産物がある。地域・地産外商には大きな効果がある。これらを組み合わせ返戻品の数を増やしたい。住民の力を借りて推進していく。



整理作業が進む郷土資料館

問 広報への有料広告
募集を

答 今年度開始に向け
準備している

田中

少子高齢化が進み今後、町の財政状況は厳しくなる。他の市町では広報に有料広告の取り組みをしている。自主財源確保に向けて本町も取り組まないか。

岡崎企画調整課長

有料広告については28年度中の開始に向け現在準備している。他の市町村の状況も確認して早期に進めていく。

問 5年間で611人の
町民減少

答 非常にショック

田中

国税調査速報値によると本町は5年間で611人減少した。この数値をどう捉えるか。これまで若者定住や移住の取り組みをしてきたが、その取り組みと成果は。

池田町長

調査速報値は、人口推定を上回る減少で非常にショック。何とかしなければならぬ。移住相談員を配置して相談を受けているが移住に繋がっていない。今後各課連携して移住促進に取り組む。

高橋西庁産業建設課長

橋梁については3年前から点検し老朽度の高い所から対応。簡易水道については大きな社会問題。総合水道事業の統合認可計画と併せ施設更新計画を今年度予算に計上している。

問 公共施設等総合管理計画は

答 全町的な計画を策定していく

田中

過去に建設された公共施設等が更新時期になる。将来、財政状況がさらに厳しくなる。庁舎・学校・体育館・集会所・住宅等のハコモノ、道路河川・水道などインフラ整備に多くの課題が出てくる。管理計画についての検討は。

下元総務課長

問 工事量と発注見通しは

答 例年分を確保



中山昭英議員

中山

平成28年度工事の発注見通しと県工事は、

池田町長

財政事情等を把握しながら例年の事業費の確保に努め、県工事も国道を中心に要望している。

高橋西庁産業建設課長

当初が繰越を含めて23億2千万円余りで、繰越・町単独から発注し、切れ目のない発注を心がけていく。県工事は高野のトンネルに着手するので23億5千万円と多くなっている。

一般質問

中山

独身者が住む住宅が無い。ステップ住宅の形態をした独身者専用の町営住宅を建築して、若者定住と人口拡大に繋げる取り組みを。

池田町長

国の補助事業がないので現状では困難である。行政が支援できる範囲を議論しながら民間の力を活用した整備を考えていきたい。



改良が進む町道新田保井川線

問 独身者住宅の整備を
答 現状では困難

問 ふるさと納税の強化を

答 推進していく

中山

頑張った市町村ではふるさと納税が10億円を超えている。町の財政増は勿論、町内産品の販路拡大・収入増と経済効果は大きい。

商品開発を進め、重点施策として取り組むべきでは、

池田町長

認識が十分でなかったと反省している。

今後は各種団体等に説明をして品目の拡大を図り、増税に向けて体制を充実させていく。



単身者用住宅(船戸団地内)

問 奥四万十博で
得るもの

答 体制作りができる

中山

このイベントで観光産業の創出ができて、来年以降に繋げる取り組みができるのか。

池田町長

今までの観光振興と全く違った積極的な取り組みであり、この機会に津野町のファンを増大させたい。多くの関係者が議論をして様々な計画をする動きが出来ており、これが今後に繋がっていく。

問 奥四万十博で何を
答 地域産業を潤す観光を

中山

四国内の日帰り、中国・近畿の一泊二日とか、どのような観光を目指すのか。今年一年の単発で終わらせないために何をするのか。

池田町長

集客・誘客を図る取り組みを実施しており、これを検証しながら来年以降の歴史博に繋げることで地域経済を潤す観光産業の創出を図っていく。

問 奥四万十博の
目玉は

答 検証しながら
進める

中山

来年度以降の経済効果を考えたとき、また来たいと思わせることが必要である。景色は一度見れば次は別の場所に行く。また食べたいと思わせる物があれば二度三度の来町に繋がる。津野町ならではの目玉となる商品や食の開発を。

戸田産業建設課長

目玉商品として突出した

問 総合センターの活用は
答 積極的な利用を計画

中山

体育館の完成イベントと、経済効果、健康増進・予防を見込んだ恒常的な活用と取り組みは。

川上教育長

イベントとして9月のワンと遊ぼうショー・10月に五輪選手によるジュニアバレーボール教室を計画している。また、今年の大

会には後援事業として特産物の提供も考えている。

県大会は困難であるが、郡・支部の大会誘致や春・夏の合宿などへの働きかけ、また、町内の商店・飲食店のチラシや弁当の注文などを商工会等と連携して取り組むなど、経済効果も考慮した利用計画を策定して取り組む。



B&G四国高校女子
バレーボール大会

ものがないが、リピーターを増やすためにはおもてなしの心が大切で、町民の方に関わりを持っていただくのが一番と考えている。

また、来られた方のニーズを調査しながら新たな商品開発等を関係者と検証しながら進めていく。

一般質問



川上智子議員

問 木質バイオマス
エネルギーの事業化は

答 現状では難しい

川上 地域循環型システムの可能性の調査を基に供給側の投資的経費、需要側の施設整備等の経済性について検討し、事業化に向け取り組みとしていたが、その後どうなっているのか。

池田町長 現在の化石燃料の急速な下落により需要側から見るランニングコストの削減効果は見えない。
森林組合では低質材よりA材、B材に主体を置いており、チップ化についても事業化に動く状況では無い。

問 追跡！事業所への支援は

答 具体的な事業に繋がりたい

川上 町内事業所の求めているものを把握し、3月までに策定するアクションプランの中に組み入れるといったが。

岡崎企画調整課長 中小企業の現状や課題、支援ニーズ等の状況把握を行う。商工会との連携を図り、具体的な事業に繋げるスキームで企業・創業支援項目のアクションプラン策定を行う。



作成された絵本（町立図書館蔵書）

問 よく考えて作成を

答 反省する

川上 昨年度作成した吉村虎太郎先生の絵本は、子どもたちを対象にしているにもかかわらず漢字ばかりでふりがなが振られていない。図書館司書等の意見も聞き取成すべきでは。

川上教育長 紹介された業者に作らせた。指摘された通り慎重に考えなくてはならなかったと反省している。

問 十分な取り組みを

答 支援員を派遣

川上

厳しい環境にある子ども
らが学びをあきらめないよ
う放課後等における学習支
援の十分な取り組みを。

川上教育長

放課後の加力指導につい
ては基礎学力の定着に向け
ての学習を主に実施してい
る。今年度学習支援員を2
名増員し、特別教育支援員
・学習支援員を派遣しなが
ら放課後学習にあたる。

問 介護者の支援を

答 既存事業の継続

川上

認知症の適切なケアが受
けられるための介護者への
育成や支援、地域で支える
ことができる環境づくりの
具体的な対策を。

津野西庁住民福祉課長

認知症家族の交流会の開
催を継続。対象となる家族
へ働きかけを推進し負担軽
減が図れるよう取り組む。

川上

問 メンタルヘルス対策の
充実・強化を
答 負担軽減に努める

労働安全衛生法に基づく
ストレスチェック制度が施
行された。形式のみで終わ
る事なく一人ひとりが持つ
ている力を発揮できる職場
環境づくりを。

池田町長

限られた職員数の中、非
常に厳しい業務量になつて
いた経緯もあり反省してい
る。今後適正な定員数の見
直しも含め各課長とのヒア
リングの中で部署の配置見
直し、負担軽減等メンタル
面に対応していく。



チームティーチングの授業風景

川上

問 目指すべき方向性と
目標は

答 まだ構想段階である

町長は「津野町の総合商
社化」を目指した総合戦略
が必要であると考えている
ようだが、その為に本町が
目指す方向性と目標は。

池田町長

また構想段階であり多く
の方と議論を深めながら取
り組み、より元気な津野町
に結び付けていきたい。

議会のういき

- 1月
- 30 平成28年新春賀詞交換会
(福祉交流センター)
- 2月
- 7 津野町駅伝競走大会
- 9 産業建設常任委員会
(町内・委員)
- 14 郷消防団1部屯所落成式
(議長)
- 26 高知県町村議会議長会第67回定期総会
(高知市・議長)
- 高知県町村長・町村議会議長大会 (高知市・議長)
- 29 議会運営委員会
(本庁・議員)
- 3月
- 1 梶原高校卒業式
(梶原町・委員長)
- 2 高幡広域市町村圏事務組合議会他3月定例会
(須崎市・議長)
- 4 第1回津野町議会定例会
(本庁・議員)
- 全員協議会 (本庁・議員)
- 産業建設常任委員会
(本庁・委員)
- 5 休会 (～7日)
- 6 高知県自衛隊入隊・入校
- 8 激励会 (高知市・議長)
- 8 一般質問 (本庁・議員)
- 8 全員協議会
- 9 議案審議 (本庁・議員)
- 9 議案審議、閉会
- 10 議案審議、閉会
(本庁・議員)
- 12 葉山中学校・東津野中学校卒業式
(本庁・議員)
- 17 津野山広域事務組合議会定例会
(梶原町・議員)
- 津野山畜産公社理事会
(梶原町・議員)
- 18 津野町森林組合通常総代会 (福祉交流センター・議長)
- 19 さくらんぼ園卒園式
- 20 四万十町合併10周年記念式典(四万十町・議長)
- 23 葉山小学校・精華小学校・中央小学校卒業式
(本庁・議員)
- 24 にじいろ園卒園式
- 25 矯正施設等誘致調査特別委員会 (東京都・委員) (～26日)
- 28 高幡東部清掃組合議会定例会
- (中土佐町・議員)
- 29 J A 津野山お茶関連事業竣工式典 (菅農センター輝・議長他)
- 4 交通安全町民会議総会
(本庁・議長)
- 8 高幡町村議会職員連絡協議会定期総会
(本庁・副議長)
- 10 奥四万十博オープニングセレモニー
(須崎市・議長)
- 13 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 20 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 23 郷地区集落活動拠点施設「奥四万十の郷」落成式 (奥四万十の郷・議長他)
- 26 全員協議会
(本庁・議員)

編集後記

五月は男の節句。四万十街道ひなまつりの華やかさに比べ、毎年少なくなっていく鯉のぼりに故郷の将来に不安を抱く。

子供のいない日本に、高知県に、津野町にいたくないから行政が動く。しかし、何時もながらこれといった特効薬もなく、このままでは中山間地域は元気を失っていく。出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・育児休養・就労保証等々、ひとつひとつの課題はいま解決しなければならぬ。

平成28年度の当初予算が可決し、津野町の進む道が決まった。未来に後悔を残さないために、今を有効に生きていかなければ。

(文責・大崎芳章)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。